



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：臨床研修部・大植花

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 大植 花

【指導医】

聖路加国際病院 救急部 一二三 亨

当院救急外来を受診後入院された方を対象とした

痛みの表現の違いに関する研究

1.研究の対象

2011年1月1日～2023年6月30日に当院救急外来にて急性虫垂炎と診断され入院加療を受けた方

2.研究の目的・方法

救急外来で痛みを訴える方に対して、既に多量の鎮痛薬を投与していた場合でも、痛みの程度が大きければ、更なる鎮痛を考慮することとなりますが、痛みに対する訴え方を明らかにすれば、適切な疼痛管理を実現できると考えられています。

国籍や人種が救急外来患者の疼痛管理に影響を与えることを明らかにした研究報告はいくつかありますが、日本人を対象にした研究はありません。

本研究では、聖路加国際病院の救急部を受診し急性虫垂炎と診断された患者さんに関して、国籍、人種などの因子が疼痛を過剰に表現したり、過少に表現したりする訴え方に影響するかを明らかにし、さらに疼痛管理にも影響を与えるかどうかを明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年7月31日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、鎮痛薬使用量、使用した鎮痛薬、血液データ、虫垂炎の重症度、手術実施の有無 等